

『一粒の種でいいから  
生きていたい』

# 砂川恵理歌 講演&ミニコンサート

誰もが経験する命(いのち)の終えん、そして大切な人との別れ。また、寄り添う気持ち(こころ)。命の尊さ、生きる素晴らしさを伝える歌「一粒の種」をいのちの現場で働くあなたに届けます。

## ＊ご存じですか「一粒の種」

癌に冒され余命3ヶ月を告げられた男性が、亡くなる3日前に残した言葉から生まれた曲。その言葉を預かった担当看護師はポエムにまとめ、宮古島のシンガー・ソングライターに託し、砂川恵理歌さんが授かった。生への執着も生々しく壮絶で、延命治療を拒んだというこの男性が最後まで「生きた」事の証になっている。

日時

平成24年 **12月3日(月)**  
13:30～15:00(13:00開場)

会場

**奈良県社会福祉総合センター  
6階 大ホール** **入場無料**(定員500人)

(橿原市大久保町320-11 ☎0744-29-0111)

参加対象

- (1)奈良県老人福祉施設協議会会員施設の役職員
- (2)奈良県内社会福祉法人の役職員
- (3)奈良県内介護・看護関係者
- (4)老人介護に関心のある方 等

プログラム

講演&ミニコンサート【「一粒の種」の誕生と出会い、  
伝えたい思い／「一粒の種」を含めた数曲の熱唱】

## 砂川恵理歌プロフィール

沖縄県宮古島市出身 沖縄県在住

06年デビュー以来、7作のCDを発表。

09年2月に発表したシングル「一粒の種」は、ある末期がん患者の言葉を宮古島の人々がリレーして生んだもの。実話をもとに生まれたその背景、優しく深い歌声が話題となり、ドキュメント番組でも取り上げられるなどを経て、全国に支持を広げている。09年、10年と2年にわたり沖縄の年間トップセールスを記録、楽曲をベースにした書籍化や映画化もなされた。現在、「一粒の種」を携え、学校、病院、福祉施設などでミニコンサートを開く「smile seed project」を全国で実施中、訪問先はまもなく500か所を数え、会いに行った人は5万人超。介護職の経歴をもつ異色シンガーでもある。

<http://sunakawaerika.net>

**参加申込**

「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、  
平成24年11月28日(水)までに下記事務局までお申し込み下さい。

**申込先**

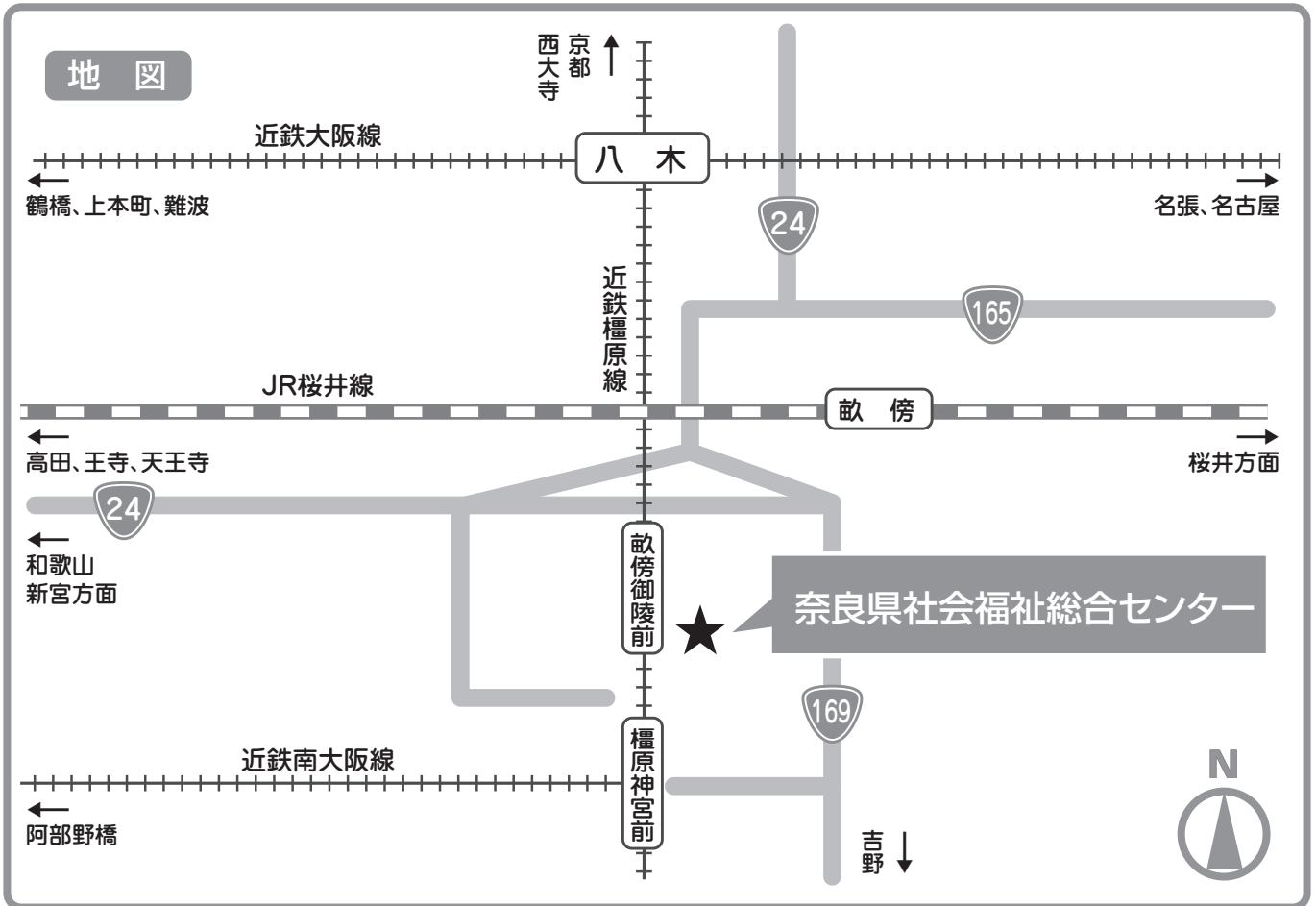
奈良県老人福祉施設協議会事務局(青木・中村)  
〒634-0061 橿原市大久保町320番11  
TEL 0744-29-0100 FAX 0744-29-0108  
E-mail:shisetsu@nara-shakyo.jp

**参加申込書**

FAX:0744-29-0108

機 関 名		連絡担当者	
Tel		Fax	
	参加者名		役職名
1			
2			
3			

※個人情報とは本研修の目的以外に使用いたしません。※定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡させていただきます。



電車の場 合	近鉄橿原線・畝傍御陵前駅下車 北へ徒歩1分
--------	--------------------------

お車の場 合	駐車スペースに限りがあります。 満車の場合は、センター西隣の橿原市営畝傍御陵前駅東駐車場をご利用ください。(最初1時間200円、以降1時間100円、最大料金500円)
--------	--